

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	マハナの森柏たなか		
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 1日		～ 令和8年 2月 21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	43	(回答者数) 32
○従業者評価実施期間	令和8年 3月 5日		～ 令和8年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 3月 25日	○公表日	令和8年 3月 31日

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様のご意向に沿った、支援を心がけている。 保護者様利用者様との信頼関係を大事にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者様利用者様に対しての、話し方、接し方に気を配っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 丁寧なご対応、ちくちく言葉について、職員間で話し合っている。
2	<ul style="list-style-type: none"> 時には広々とした運動施設で、伸び伸び活動することで、気持ちのリフレッシュや体力づくりができる。 	<ul style="list-style-type: none"> メリハリのある行動が出来る様に、意識して支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員間で、常に危険予測をし、安心安全に努める。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<ul style="list-style-type: none"> 少しずつではあるが、保護者様利用者様との交流の機会(親子運動・親子制作)を提供している。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後、親子での交流の場で、保護者様同士の交流の場を提供できるように検討していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 日曜日、祝日を、親子ふれあいの場、保護者様交流の場として、企画検討をしていきたい。
2	<ul style="list-style-type: none"> 職員の資質の向上を図るための研修を受講する機会が十分ではなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 日々の業務に追われ、研修等の機会を確保が難しかった。 	<ul style="list-style-type: none"> 色々な研修情報を把握して、職員に周知し希望を聞き講習や研修の機会をさらに提供していきたい。
3			

保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 令和8年3月31日

事業所名： 児童発達支援 児童発達支援事業所 マハナの森柏たなか

対象人数(保護者)43人 回答者数 32人 回収 74.4%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	30	2			2階の運動スペースは、もう少し広いともっといいな。と、思います。	保護者様をご存じの様に、マハナの森の教室は、決して広いとは言えませんが、規定の広さに対しての収容人数で運営しております。隣接の体育館ではのびのびと粗大運動(トランポリン、広い館内を走る歩く、スポンジプール、等)が出来る時間を提供しています。今後も安全面に気を付けながら、お子様が楽しいと思える運動療育を提供していきたいと思えます。
	②	職員の配置数は適切であると思いますか。	31			1		職員の配置数につきましては、規定通りの人員配置を心がけています。運動時は体操の経験がある職員を配置し、また送迎時は職員2名体制で行い、安心安全に努めております。
	③	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	27	2		3	1階、2階、体育館と分かれているのとはとも分かりやすいと思います。	通常の2階家(民家型)ですので、階段、玄関につきましては、段差があります。1階、2階のフロアー及びトイレについてはバリアフリーになっています。段差や階段については、安全を第一に考え、職員の見守りや一部介助にて対応しています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	31			1		利用者様には、清潔で衛生面に行き届いた教室での活動ができる様に心掛けています。利用者様の退室後、掃除、消毒等、徹底して行い、翌日の受け入れができる様にしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	⑤	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に 応じた専門性のある支 援が受けられていると思 いますか。	28	3		1		療育中、お子様の様子を観察し、個々の 特性に合った対応を心がけています。 例えば、座ってお話を聞く場面で立ち歩 様子を観察しながら、子供の方から、席 に戻れるように対応させて頂きます。
	⑥	事業所が公表している 支援プログラムは、事業 所の提供する支援内容 と合っていると思いま すか。	31	1				公表している支援プログラムに沿った支 援を心がけています。
	⑦	こどものことを十分理解 し、こどもと保護者のニ ーズや課題が客観的に分 析された上で、児童発達 支援計画(個別支援計 画)が作成されていると 思いますか。	31			1		初回、保護者様との面談で、アセスメント (モニタリング)をして、ご意向をお聞きし ながら長期目標、短期目標を立案して います。 6ヶ月毎に対面でモニタリングを実施し、 保護者様合意の上、評価、見直しをして います。
	⑧	児童発達支援計画には、 児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の 提供すべき支援」の「本 人支援」、「家族支援」、 「移行支援」で示す支 援内容からこどもの支 援に必要な項目が適切 に設定され、その上で、 具体的な支援内容が設 定されていると思いま すか。	30			2		児童発達支援の提供すべき支援」の 「本人支援」「家族支援」「移行支援」で 示す支援内容からこどもの支援に必要な 項目に添った短期目標を、保護者様 と面談しながら、決めさせて頂いており ます。短期目標の個々については、具 体的な支援内容を記載しております。
	⑨	児童発達支援計画に沿 った支援が行われている と思えますか。	31			1		
	⑩	事業所の活動プログラ ムが固定化されないよ う工夫されていると思 いますか。	32					
	⑪	保育所や認定こども園、 幼稚園等との交流や、そ の他地域で他のこども と活動する機会があり ますか。	18	7	3	4	幼稚園等との交流はないが、他の事業 所の子どもさんと交流できる機会があ った	幼稚園等との交流はまだありません が、2025年11月、初の試みとして、他 の事業所の利用者様をお招きし、合同く ふれあい運動のイベントを実施しまし た。 今後も、他事業所、保育園等の合同イ ベントの機会を考えていきたいと思 います。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
保護者への説明等	⑫ 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32					
	⑬ 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32					
	⑭ 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	24	4	3	1		2025年、8月〈親子ふれあい運動〉12月〈親子制作・親子ふれあい運動〉のイベントを企画実施いたしました。今後、研修やご家族様参加による、交流の場の提供等、実現に向けて検討して参ります。
	⑮ 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	29	2	1		ハグアプリを通じて写真等からも様子を 知ることができる ほとんどアプリ上でしかやりとりがない ため。	送迎時やHUGアプリで利用時の療育プログラム、個々の様子、活動の写真を配信しています。またHUGメールで伝達事項等、色々なやり取りを行っています。また、モニタリング時にご相談の時間を確保しています。お電話での相談も実施しています。また対面での相談も随時承ります。マハナでの様子、ご心配事等、ご遠慮なくお伝えいただければと思います。
	⑯ 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	1	1			6ヶ月毎のモニタリングの実施時、保護者様のご希望やご相談を承っています。また、随時、ご相談やご参観もお受けしています。ご心配事等ございましたら、送迎時、HUGメール、お電話、対面でお話をお聞かせくださいませ。よろしく願い申し上げます。
	⑰ 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	30	2				
	⑱ 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	18	6	2	6	きょうだい同士の交流など支援があれば嬉しい	〈親子ふれあい運動〉〈親子制作〉のイベントを企画実施いたしました。2025年3月、ご家族様参加による〈年長児様を送る会〉を企画実施し、保護者様、ごきょうだい、47名ご参加いただきました。2026年3月にも予定をしております。今後、研修やご家族様参加による、交流の場の提供等、検討していきたいと考えています。
	⑲ こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	27	3		2		ご相談や申入れについて、保護者様と日程をすり合わせて、実施しております。ご契約時、ご相談、ご面談、参観について、ご希望があればご連絡くださる様お伝えしていますが、なお、お気兼ねなくご連絡頂ける様な雰囲気作りをしていきたいと思っています。
	⑳ こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	30	2				利用者様に対する言葉掛けや特性に沿った対応の仕方等、日々職員間で話し合っ ていきたいと思っています。また利用者様の 思いに向き合い、精神面や行動の変化 にも、気を配っていきたいと思っています。 保護者様のご意向に沿ったご支援、情 報の伝達に努めていきたいと思っています。
	㉑ 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	27	1		4	先生方の名前と顔が分かるような、スタッフ紹介のお便りもあればいいなと思いました。	定期的にホームページ・SNS等での発信は行ってはおりませんが、HUGシステムで活動の様子、活動の写真等、毎日発信させて頂いております。行事予定につきましては、HUGメールやお手紙等でお知らせしております。職員の紹介、顔写真については、今後検討してまいります。
㉒ 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	29			3		個人情報の取扱いには、十分に気を付けてまいります。	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
非常時等の対応	㉓	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	24		1	7		ご契約時、契約書、重要事項説明書に沿って、説明、周知させて頂いております。 (事故防止、緊急時対応、感染症、虐待、身体拘束)等 ※感染症対策等の内容について、ご希望により閲覧ができます。
	㉔	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	25	1		6		防災訓練(避難訓練)、消防署見学(ビデオ(火災))を実施しています。
	㉕	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1		4		マハナの森安全計画に基づいて、安全に配慮した支援を心がけています。
	㉖	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	26	1	1	4	小さな怪我ですが、絆創膏を貼って帰ってきました。先生からの報告はなく、子供から怪我をしたこと聞きました。	保育園、幼稚園での引き渡し時、体調や傷についての確認、マハナでの事故や、小さな傷が出来た場合、保護者様に連絡、場合によっては、保護者様同意の上、受診する等、ご対応いたします。また、緊急を要さない、小さい擦過傷等は、送迎時、詳細をお伝えさせて頂いております。 絆創膏を貼っていた件ですが、日時がわからないので特定できませんが、日常的に、絆創膏を貼って欲しいとの要求をして来るお子さんがいて、つい貼ってあげるケースがありました。 職員間で、必ず共有して、送迎時に保護者様にご報告を怠らないようにしていきたいと思っております。 申し訳ありませんでした。
満足度	㉗	こどもは安心感をもって通所していますか。	31	1				これからも安心して、楽しく通っていただける様に、努めてまいります。
	㉘	こどもは通所を楽しみにしていますか。	31	1			気分によってむらがある 毎回楽しみにしております。	今後も、利用者様が、楽しく通って頂ける様に、又笑顔で帰って頂ける様に、努めてまいります。
	㉙	事業所の支援に満足していますか。	31	1			保育園での様子が本当に落ち着いてきました。	今後もご期待に添える様に努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		マハナの森柏たなか				公表日	令和 8 年 3 月 31 日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	2	安全面や密集にならない工夫 (2グループに分けての活動)	2グループに分けて(1階、2階)時間差で活動することで、安全面や密集にならないように工夫をしている。 運動施設での活動時間の提供。		
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	職員の補充には柔軟に対応している。	急な職員の病欠などを考慮して、職員の補充が出来る様になっている。低年齢や問題行動、発育の状態に応じて、一対一で職員が対応している		
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	7	バリアフリーではない階段等は職員の配置に気を配ってリル。	生活空間はトイレを含めバリアフリーになっているが、二階家(民家型)のため玄関、階段については安全を考慮し必ず職員が介助、見守りをしている。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	2		掃除、消毒の徹底。療育中、換気をし感染症等の防止に努めている。生活空間での運動遊びや知育、運動施設を利用した際には粗大運動の時間などメリハリのある活動の		
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	6		体調不良の利用者や仮眠する利用者については他児と離して職員が付き添い、休養できる様に工夫している。 (現在は相談室等を使用している)		
業務改善	6 業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	4		前日の振り返り、当日のスケジュールや利用者情報の共有などについて話し合っている。パート従業員については、出勤時間が違うことがあり、前日の振り返りに参加できないことがある。 毎週出来るように工夫していきたい。		
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	2		色々など意見を真摯に受け止め、改善できる案件は実行に向けて話し合っていく。		
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	4		毎日ミーティング等で、話し合いは実施している。 また週1回、上司とのミーティングを実施し企画イベント、仕事内容などの進捗状況について、報告相談を行っている。		
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	7		まだ実施には至っていない。		
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	6		運営上必要な研修は行っている。		
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0				
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	1		個々のこどもに対して保護者様と対面でモニタリング時適切に行っている。		
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	1		今後もこどもの支援に関わる職員が共通理解できるように努めていく。		
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	3		今後も、職員一人一人に支援内容を共有し、理解の上で、直接支援が出来る様にしていきたい。		
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2				
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	1				
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	4	RHINEでの共有。	パート職員を交えて、話し合いができるような一日の流れを、検討していきたい。		

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	2		固定化しないように、周囲の意見も柔軟に聞き、よりよい活動プログラムにして実行していきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	2		集団療育を行っているが、個々の特性により職員が1対1で、個別に関わる支援内容を作成することもある。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	1	検討中	支援開始前は、毎日事前ミーティングを実施している。パート職員に関しては、療育途中からシフトに入る場合があり、後から伝えなければいけないので、共有漏れがある。今後共有の仕方について検討していく。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	5		療育の後の振り返りは、翌朝行っている。パート職員は午後出勤となるため、共有できる様にしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	2		日々の支援の記録等は、社員が行っているのので、パート職員からの意見や聞き取りも含めての支援記録を作成している。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2		定期的に、保護者様と対面でのモニタリングを行っている。目標について、保護者様同意の上の評価、見直しをして、個別支援計画書を作成している。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	4		こどもの状況をよく理解した者（資格を持った職員）が出席している。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	3		障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制は整えている。パート職員に共有出来ないことがあるので、今後勉強会の機会を持つ。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1		保育所や、認定こども園、幼稚園との、支援内容等の情報共有をさせて頂いている。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	2		保護者様を通して、就学相談等の内容についての共有をし、相互理解に努めている。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会子ども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	2		今のところ助言等を受ける機会はあまりないが、今後必要に応じて直接の関わりを検討していく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	3	5		今後検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		面談や、送迎時、アプリで活動の様子の配信等、情報の共有をし、共通理解に努めている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6		現時点、実施していない。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	1	6		ご家族様には、契約時、丁寧な説明を心がけている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2		契約後、面談(アセスメント)を実施し、保護者様の同意の上、意向に沿った目標の設定をしている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	2		2025年8月（親子ふれあい運動） 12月（親子制作・親子運動） 2026年3月（卒園児送る会）家族参加で実施。 保護者様同士の交流も増えてきている。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		相談や申し入れがあった場合、速やかな対応を心がけている。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	4		事業所で導入しているアプリで、毎日の活動プログラム、個々の利用者様の活動の様子、画像を配信、紙ベースやメールでのイベントやお知らせの情報を発信している。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	1		常に心掛けている。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	6		今後機会があれば検討していく。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	2		契約時、個人調査票に記入して頂いた内容について、該当があれば記入されているので、その際、詳しく聞き取りをしている。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	2		保護者様に直接聞き取りをしている。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	2		小さな事柄でも、ヒヤリハットを作成して共有し、改善策を話し合っている。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	3		規定通りの職員の研修会を行っている。
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2		契約時に、やむを得ず身体拘束を行うかについての説明をしたうえで、個別支援計画書の備考に、記載している。	